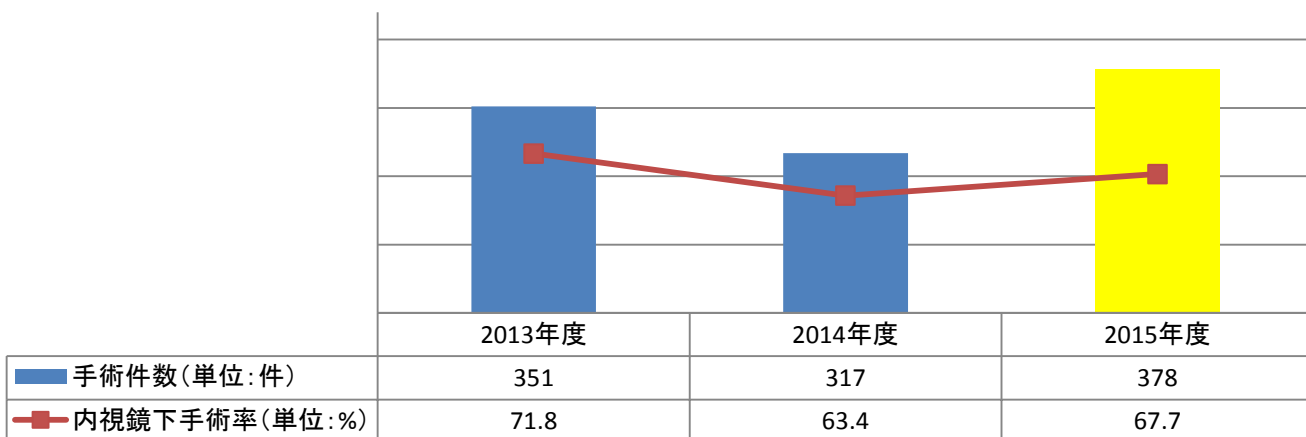
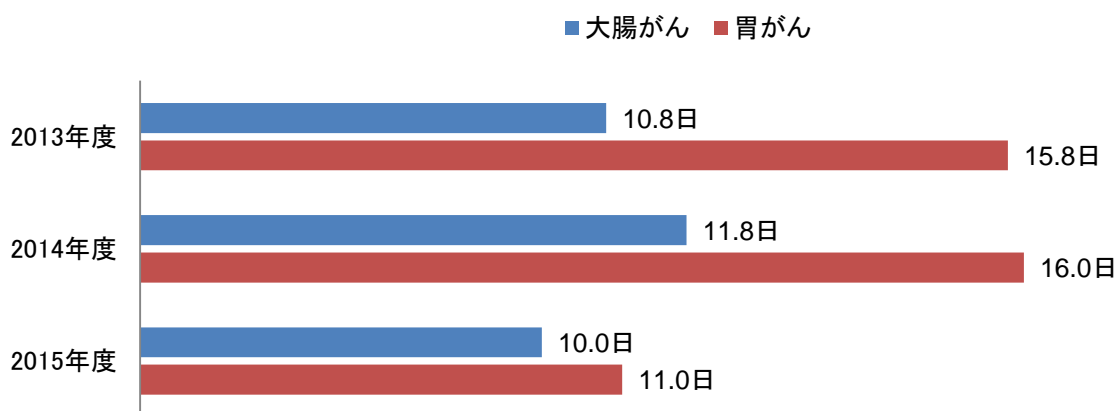


がん手術件数



大腸がん・胃がんの術後平均在院日数



■ がん治療に対する外科的治療が拡大

日本人の死亡率上位に位置するがんの患者さんは荻窪病院でも増加しています。本指標は DPC 診断群分類の「医療資源を最も投入した傷病名」、「医療資源を2番目に投入した傷病名」、「医療資源を3番目に投入した傷病名」が悪性腫瘍の患者さんの内、手術を実施した件数を示しております。2013年度から2014年度にかけて34件減少しましたが2015年度は再び増加し3カ年で最大の378件の手術を手がけました。また、手術の総件数のうち平均67.7%が内視鏡下で手術を行っています。

術後の在院日数の変化においては2015年度は2014年度と比べ大腸がんで1.8日、胃がんで5.0日の平均在院日数が短縮致しました。